

◎大学生による企業訪問調査◎

【目的】

本調査の目的は、学生が企業に訪問し、若年の社員・職員の就労に対する考え方や訪問企業・団体におけるワークライフバランス推進の取り組みを調査し、学生の視点で熊本県内のワークライフバランスの現状を捉え、今後の課題を見いだすこと、また参加学生自身が就労とワークライフバランスに関する意識を高めることであった。

【訪問企業と訪問日】

熊本県からワークライフバランスに関する取り組みの優良企業の中から、10社の紹介を受け、日程調整後訪問調査を実施した。

平成25年9月2日 社会福祉法人 リデルライトホーム、株式会社談

平成25年9月5日 株式会社イノス、医療法人むすびの森 あきた病院

平成25年9月6日 株式会社 お菓子の香梅

平成25年9月12日 ピュア・サポートグループ、

ルネサスセミコンダクターズ九州山口株式会社 本社・川尻工場

平成25年9月16日 イオン九州株式会社 AEON MALL宇城店

平成25年9月18日 オムロンリレーアンドデバイス株式会社、

社会福祉法人 不動産 一本松荘

【調査内容】

以下の内容について、各訪問で1時間から2時間程度の時間でグループまたは個人に対してインタビューを実施した。

○社員・職員に対して

就職活動のときと就職してからの「働くこと」についての考え方の変化について

仕事とプライベートの生活の両立について（子どもがいる場合には、子育てとの両立もとご自身でされている工夫など）

就職活動中の自分や同じ境遇にある大学生に伝えたいアドバイス

仕事とプライベートな生活との両立をよりしやすくするための提案など

○経営者や人事総務担当者に対して

ワークライフバランス実現の重要性の認識

【参加学生】

●熊本学園大学2年 松浦有紗さん

●熊本学園大学2年 中岡亜美さん

●熊本大学3年 末田夕貴さん

●熊本大学1年 水城歩さん

●崇城大学2年 稲吉礼美さん

●崇城大学2年 村吉沙織さん

●九州ルーテル学院大学3年 田上春菜さん

●九州ルーテル学院大学3年 轟春佳さん

●九州ルーテル学院大学3年 川田翔大さん

●熊本高等専門学校専攻科1年（八代キャンパス） 横山大己さん

●熊本県立大学1年 江浦愛莉さん

●熊本県立大学博士前期課程2年 伊津野 公一さん

以上、6機関から12名の学生が参加し、1カ所につき2名以上が分担して企業訪問を実施した。

参加する学生に対して、オリエンテーションを実施し、その際に参加前の就労観や就職活動に対する考え方をたずね、さらに担当企業の全訪問を終えた後に同様の質問をたずね、どのように変化したかを振り返る機会を設けた。

【調査のまとめの方法】

学生は毎回の訪問で聞き取った内容をまとめて報告し、その内容を整理し平成25年10月16日に開催した振り返りのワークショップの際に、共有する資料として活用した。

◎各企業訪問調査報告◎

①平成25年9月2日 社会福祉法人 リデルライトホーム

【訪問者】田上、横山、河村

【対応者】女性職員4名（内1名は総務担当者）

【学生の振り返り】

- ・女性がとても働きやすい仕事環境である。
- ・職場の方々の理解と協力が行き届いていると実感した。
- ・家庭を一番に考えていい会社だったので、子供がいて共働きの家族にはとてもいい会社だと思った。
- ・休みも時間休でとることができ、子どもが突然風邪をひいたときでも安心して仕事を他の人にまかせて子どもを病院に連れていくことができる環境があると思った。

②平成25年9月2日 株式会社談

【訪問者】水城、轟、（コンソ事務局から）尾方と本田

【対応者】女性社員4名

【学生の振り返り】

- ・とても勉強になった。就職活動への心構えなど、今後大いに活かしていきたいと思う。
- ・ワークライフバランスについては、仕事とプライベートはつながっていると考えている方が多く、両者は切っても切れない関係であると改めて感じた。
- ・名刺の交換などの礼儀作法も体験することができ、とても良い機会であった。
- ・仕事とプライベートが繋がっているとされたのがとても印象的だった。
- ・就職活動は企業研究をしっかりと行い、自分が入りたいとおもうようなところを見つけていきたい。

③平成25年9月5日 株式会社イノス

【訪問者】江浦、末田、轟、尾方・本田（コンソ事務局）

【対応者】女性社員3名（内1名総務担当者）、男性社員2名

【学生の振り返り】

- ・キーワードは、「メリハリ」だと思った。どうしても仕事を優先させたいときもあるし、プライベートの時に外せない用事があるときもある。そういう場合のことを考えて、無計画に日々を過ごすのではなく、ある程度計画性をもって周りや自分と調整をして仕事とプライベートでのメリハリをつけていくことが、仕事もプライベートも充実させていくポイントであることを知った。
- ・私は今自分のために、アルバイトしており、就職してからも自分のために働くというのは変わらないと思うが、給料という形になると働くことの意味が「自分のため」から「人のため」にかわるのかもしれないと考えることができた。人のために働いて自分のためにお金をつかえるのが一番だと思った。
- ・会社の雰囲気もよく、私もこのような会社に就職したいと思った。そのためにも今のうちからしっかり調べていろんな会社の情報を集めていこうと思う。

④平成25年9月5日

医療法人 むすびの森 あきた病院

【訪問者】田上、轟、（コンソ事務局から）尾方と本田

【対応者】男性職員1名、女性職員2名（内1名人事総務担当者）

【学生の振り返り】

- 互いに気を配り合える環境を築く事が大切であるという意見が印象に残った。
- スタッフのみなさんがいきいきとされていたのが印象的だった。
- 仕事とプライベートに特別な区切りをつける訳ではなく、上手くバランスを取られているようだった。
- スタッフ同士の信頼関係が厚い、アットホームな職場環境であると感じた。

⑤平成25年9月6日

株式会社 お菓子の香梅

【訪問者】伊津野、河村

【対応者】女性社員2名、男性社員1名

【学生の振り返り】

- 社員にとって働きやすい職場環境があると感じた。
- 人を大切にする職場は必ず成功する。
- 福利厚生や社内のCompliance（セクハラ相談を含む、匿名による投書ができる意見箱の設置）もしっかりしている。

⑥平成25年9月12日 ピュア・サポートグループ

【訪問者】轟、伊津野、水城、（コンソ事務局から）尾方と本田

【対応者】男性職員3名、女性職員1名

【学生の振り返り】

- 職場の中で、なんでも話せる人を作ることが一緒に仕事をしていく中で大切なことだとおしゃっていたことが印象に残った。コミュニケーション能力は大切なことだと思った。
- 私の妹も介護職（ケアマネ）で、私自身も以前、ボランティアで介護職の研修を2週間ほど経験したことがあり、事情はある程度分かっていた。一言で言うならば、実に過酷な職場である。全く職員の方の表情からはそのようなマイナスの発言はでなかく、働きやすい職場であることが窺えた。
- 「一番この仕事をやって良かったことは何ですか。」という質問に対して「やはり、おじいちゃんやおばあちゃんからのありがとうという言葉ですね」と言われ、思わず胸が熱くなってしまった。
- 皆口をそろえて、天職ですと言える表情から、自らの職業観を改めて見つめ直す機会になった。

⑦平成25年9月12日 ルネサスセミコンダクターズ九州山口株式会社

本社・川尻工場

【訪問者】末田、田上、川田、横山、水城、本田（コンソ事務局）、河村

【対応者】男性社員3名（内人事担当者1名）、女性社員3名（内人事担当者1名）

【学生の振り返り】

- 日本でも取得者数が少ない男性の育児休暇を取得された方がいらっしゃるの、制度の充実とともに制度の取得しやすい環境も整っていると感じた。
- IT関連会社なので、育児休暇後は休暇前と全く違うことが多く、研修もないので大変だったというお話をお聞きして、長期休暇後の復帰は難しいことだと思った。復帰するには、周囲の方の理解と自分自身の努力が大事であると感じた。
- 学生時代よりも就職してからの勉強が多く、大変だということだった。今、大学で学んでいることも大切ではあるが、就職してその会社で新しく学ぶことが直結するのだと思った。
- 今回の企業訪問では、大学の勉強よりも仕事についてのほうがさらに勉強し学ばなければいけないと言われ、やはり仕事をするのは大変なんだと改めて感じた。
- いかに時間をやりくりするのか、そこが重要であると感じた。同時進行で時間を節約し、あまり考えすぎないように意識することで、気持ちに余裕を持たせてストレスは溜め込まないようにしているということから参考になった。
- 夫婦円満な家庭を築くことが大切であり、自分もそんな関係を築き、将来のことも考えた就職をしたいと思う。

⑧平成25年9月16日 イオン九州株式会社 AEON MALL宇城店

【訪問者】村吉、川田、水城、伊津野、松浦、河村

【対応者】男性社員2名、女性社員2名

【学生の振り返り】

- 今回の訪問で、私は初めて働いている方の本音を聞いたような気がした。
- 就職活動や働き始めても、どうしてもこの企業ではなければ駄目だと決め付けてしまうのではなく、興味のあることを軸に仕事の幅を広げることもできるのだと思った。特に「仕事が自分を変えてくれる」という言葉が心に残った。
- 今回の企業訪問では、みなさん仕事には責任がついてくると言われ、アルバイトとは違うと思った。
- 気持ちの切り替えということがストレスをためない方法ということだったが、自分がこうしたいという意思をしっかりと持つことが大切だと感じた。
- 挨拶や笑顔での接客という基本的なマナーを身につけておこうと思った。

⑨平成25年9月18日 オムロンリレーアンドデバイス株式会社

【訪問者】末田、中岡、稲吉、伊津野、水城、本田（コンソ事務局）、河村

【対応者】男性社員2名（内人事担当者1名）、女性社員1名

•【学生の振り返り】

•それぞれの部署で違う仕事をしているのに、会社の目標に向かって一つになっているという言葉が印象に残った。一見、ばらばらのことをしているように見えても会社の掲げる理念に向かい貢献している姿というのは、面白いなと感じ、また、そのような姿をイメージしつつ仕事をされているということに感慨深いものを感じた。

•様々な休暇制度があり、仕事とプライベートは両立しやすそうだと感じた。

•大学生へのアドバイスについてはご自身の経験を含めてお話してくださり、これから自分が就職活動をする時のことをイメージすることができた。

•大手企業らしい立派な福利厚生やコンプライアンスが充実していると感じた。

•離職者もたいへん少なく、女性にもやさしい企業というまさに理想の職場であるが、その背景にはこれまでの組合側と会社側との連帯した取り組みが実を結んでいることを知った。



⑩平成25年9月18日 社会福祉法人 不働会 一本松荘

【訪問者】末田、中岡、稲吉、伊津野、水城、川田、村吉、本田と尾方（コンソ事務局）

【対応者】女性職員5名、男性職員3名

【学生の振り返り】

•資格の勉強をしたり、大変なことがあったりしてもぶれずに自分の道を進んできたというお話が印象に残った。

•とりあえず周りがするから就職しようというのではなく、やりたいことを見つけぶれずに続けていくことが、ワークライフバランスを整えることにもつながっているのだと感じました。

•託児所があったり、シフトを作る人と相談して勤務時間を短くすることができるなど、働いている人たちの中に女性が多いこともあり、女性にやさしい職場だと感じた。

•お話を聞いていると勤務時間の短縮や参観日等の学校行事に参加するための勤務時間の変更など働く方が大切にされている職場だと感じた。

•「職員の方々が健全な心を持って働けるように」という企業の考え方は働く側にとって理想的な考え方だと思った。